

## A.2 追加性に関する情報

投資回収年

投資回収年数	3.7 年
--------	-------

### A.3 排出削減量の算定方法

#### A.3.1 排出削減量

$$ER = EM_{BL} - EM_{PJ} \quad (\text{式1})$$

記号	定義	単位	数値 ※3
ER	排出削減量	tCO2/年	215
EM <sub>BL</sub>	ベースライン排出量 ※1	tCO2/年	364.2
EM <sub>PJ</sub>	プロジェクト実施後排出量 ※2	tCO2/年	148.2

※1 A.3.5のベースライン排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※2 A.3.3のプロジェクト実施後排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※3 A.3.2～A.3.5まで入力後、自動計算されます。

#### A.3.2 排出削減量の算定で考慮する付随的な排出活動

##### (1) ベースラインの付随的な排出活動

注) 方法論の<排出削減量の算定で考慮すべき温室効果ガス排出活動>に規定される全ての付随的な排出活動について記載すること。付随的な排出活動について、算定を行う場合には、A.3.5に算定方法を示すこと。

(考え方) ※1
----------

排出活動	排出量(tCO2/年)	モニタリング・算定方法
		<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
		<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行わない
合計 ※2	0.0	

※1 付随的な排出活動の考え方について記載例を参考に記入すること。

※2 行を追加して記入した場合には、合計の参照範囲を確認すること。

##### (2) プロジェクト実施後の付随的な排出活動

注) 方法論の<排出削減量の算定で考慮すべき温室効果ガス排出活動>に規定される全ての付随的な排出活動について記載すること。

また、A.3.1で算定した排出削減量と比較して付随的排出活動の影響度を評価し、プロジェクト実施後の付随的排出活動のモニタリング・算定方法を決めること。ただし、モニタリングを省略する複数の付随的な排出活動の影響度の合計を5%以上としてはならない(影響度の合計が5%未満となるようにモニタリングを省略する付随的な排出活動を調整しなければならない)。

(考え方) ※1
----------

排出活動	排出量(tCO2/年)	影響度(%) ※2	モニタリング・算定方法 ※3
			<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う。
			<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う。ただし、排出量のモニタリングを省略し、影響度により排出量を評価する。
			<input type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する。
合計 ※4	0.0	0.0	

※1 付随的な排出活動の考え方について記載例を参考に記入すること。

※2 A.3.1で算定した排出削減量(ER)に対する比率(%)を記載すること。

※3 方法論で規定された方法から選択すること。

※4 行を追加して記入した場合には、合計の参照範囲を確認すること。

### A.3.3 プロジェクト実施後排出量

注) 方法論の「3. 事業実施後排出量の算定」に定める評価式に沿って排出量の評価方法を記載すること。また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、各パラメータの定義及び想定値を表中に記載すること。

#### (1) 主要排出活動

(考え方) ※1 方法論EN-S-006のプロジェクト実施後の照明設備の電力使用量から算定する。

$$EM_{PJ} = EL_{PJ} \times CEF_{electricity,t} \quad (式2)$$

$$EL_{PJ} = R_{PJ} \times T_{PJ} \quad (式3)$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後の主要排出量 (合計)	tCO2/年	148.2
$EL_{PJ}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量 (合計)	kWh/年	287163.4
$EL_{PJ,1}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量①	kWh/年	144997.6
$EL_{PJ,2}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量②	kWh/年	139512.7
$EL_{PJ,3}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量③	kWh/年	1224.9
$EL_{PJ,4}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量④	kWh/年	327.1
$EL_{PJ,5}$	プロジェクト実施後の照明設備における電力使用量⑤	kWh/年	1101.1
$CEF_{electricity}$	電力のCO2排出係数	tCO2/kWh	0.000516
$R_{PJ,1}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力①	kW	19.3640
$R_{PJ,2}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力②	kW	32.4379
$R_{PJ,3}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力③	kW	0.4598
$R_{PJ,4}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力④	kW	0.1300
$R_{PJ,5}$	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力⑤	kW	0.4550
$T_{PJ,1}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間①	h/年	7488
$T_{PJ,2}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間②	h/年	4301
$T_{PJ,3}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間③	h/年	2664
$T_{PJ,4}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間④	h/年	2516
$T_{PJ,5}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間⑤	h/年	2420

※1 方法論に記載された算定方法のうち、使用する算定方法を明記すること。

#### (2) 付随的な排出活動

注) A.3.2(2)において、影響度が1%以上であった付随的な排出活動に全てについて記載する。

(式 )

記号	定義	単位	想定値

### A.3.4 ベースライン排出量の考え方

注) 方法論の「4. ベースライン排出量の考え方」を参照し、本プロジェクトにおけるベースライン排出量の考え方及びベースライン活動量の算定式を選択して引用記載すること。また、ベースライン活動量については、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、各パラメータの定義及び想定値を表中に記載すること。

#### (1) ベースライン排出量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン排出量は、プロジェクト実施後の稼働時間で、プロジェクト実施後の照明設備ではなく、ベースラインの照明設備を稼働する場合に想定されるCO2排出量とする。

#### (2) ベースライン活動量（発電電力量、蒸気の供給量又は製品の生産量等）の算定式

注) 方法論に算定式の記載がないものについては、本項目の記載は不要とする。

$$T_{BL} = T_{PJ} \quad (\text{式5})$$

記号	定義	単位	想定値
$T_{BL,1}$	ベースラインの照明設備の稼働時間①	h/年	7488
$T_{BL,2}$	ベースラインの照明設備の稼働時間②	h/年	4301
$T_{BL,3}$	ベースラインの照明設備の稼働時間③	h/年	2664
$T_{BL,4}$	ベースラインの照明設備の稼働時間④	h/年	2516
$T_{BL,5}$	ベースラインの照明設備の稼働時間⑤	h/年	2420
$T_{PJ,1}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間①	h/年	7488
$T_{PJ,2}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間②	h/年	4301
$T_{PJ,3}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間③	h/年	2664
$T_{PJ,4}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間④	h/年	2516
$T_{PJ,5}$	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間⑤	h/年	2420

### A.3.5 ベースライン排出量

注) 方法論の「5. ベースライン排出量の算定」に定める評価式に沿って排出量の評価方法を記載すること。また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、各パラメータの定義及び想定値を表中に記載すること。

#### (1) 主要排出活動

$$EM_{BL} = R_{BL} \times T_{BL} \times CEF_{electricity,t} \quad (\text{式5})$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{BL}$	ベースラインの主要排出量	tCO2/年	364.2
$R_{BL,1}$	ベースラインの照明設備の消費電力①	kW	59.3200
$R_{BL,2}$	ベースラインの照明設備の消費電力②	kW	59.9959
$R_{BL,3}$	ベースラインの照明設備の消費電力③	kW	0.6020
$R_{BL,4}$	ベースラインの照明設備の消費電力④	kW	0.1720
$R_{BL,5}$	ベースラインの照明設備の消費電力⑤	kW	0.6020
$T_{BL,1}$	ベースラインの照明設備の稼働時間①	h/年	7488

$T_{BL,2}$	ベースラインの照明設備の稼働時間②	h/年	4301
$T_{BL,3}$	ベースラインの照明設備の稼働時間③	h/年	2664
$T_{BL,4}$	ベースラインの照明設備の稼働時間④	h/年	2516
$T_{BL,5}$	ベースラインの照明設備の稼働時間⑤	h/年	2420
$CEF_{electricity}$	電力のCO2排出係数	tCO2/kWh	0.000516

(2) 付随的な排出活動

注)A.3.2(1)において、算定することとした付随的な排出活動に全てについて記載する。

(式 )

記号	定義	単位	想定値

## A.4.1 モニタリング計画

(1) 活動量（燃料消費量、生成熱量、生産量等）

モニタリング項目			モニタリング方法			プロジェクト計画での想定		備考
記号	定義	単位	分類 ※ 1	概要	頻度	想定値	根拠	
$T_{PJ,1}$	プロジェクト実施後の照明の稼働時間①	h/年	C	営業日数から算定	年	7488	終日点灯 日曜53日除く	
$T_{PJ,2}$	プロジェクト実施後の照明の稼働時間②	h/年	C	日照時間をもとに算定	年	4301	日照時間 年中無休	国立天文台 ホームページ
$T_{PJ,3}$	プロジェクト実施後の照明の稼働時間③	h/年	C	営業時間から算定	年	2664	営業時間・営業日数	
$T_{PJ,4}$	プロジェクト実施後の照明の稼働時間④	h/年	C	就業規則から算定	年	2516	就業規則・営業日数	
$T_{PJ,5}$	プロジェクト実施後の照明の稼働時間⑤	h/年	C	営業時間から算定	年	2420	営業時間・営業日数	

※1 モニタリング・算定規程に沿って、分類A・B・Cのいずれかの方法を選択すること。  
 分類B（計量器）を用いる場合には、A.4.2において計量器やモニタリングポイントの説明を行うこと。  
 分類C（概算等）を用いる場合には、A.4.3において概算・推定方法の詳細について説明すること。

(2) 係数（単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等）

モニタリング項目			モニタリング方法			プロジェクト計画での想定		備考
記号	定義	単位	分類 ※ 1	概要	頻度	想定値	根拠	
R <sub>BL,1</sub>	ベースラインの照明設備の消費電力①	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	59.3200	照明器具姿図	
R <sub>BL,2</sub>	ベースラインの照明設備の消費電力②	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	59.9959	照明器具姿図	
R <sub>BL,3</sub>	ベースラインの照明設備の消費電力③	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	0.6020	照明器具姿図	
R <sub>BL,4</sub>	ベースラインの照明設備の消費電力④	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	0.1720	照明器具姿図	
R <sub>BL,5</sub>	ベースラインの照明設備の消費電力⑤	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	0.6020	照明器具姿図	
R <sub>PJ,1</sub>	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力①	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	19.3640	製品仕様書	
R <sub>PJ,2</sub>	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力②	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	32.4379	製品仕様書	
R <sub>PJ,3</sub>	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力③	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	0.4598	製品仕様書	
R <sub>PJ,4</sub>	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力④	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	0.1300	製品仕様書	
R <sub>PJ,5</sub>	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力⑤	kW	Ⅱ	消費電力の記載された仕様書を保管する	登録時	0.4550	製品仕様書	
CE <sub>electricity</sub>	電力のCO2排出係数	tCO2/kWh	Ⅲ	デフォルト値を使用	年	0.000516	デフォルト値	H28全電源排出係数

※1 モニタリング・算定規程に沿って、分類Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれかの方法を選択すること。  
 分類Ⅰ（実測）を用いる場合には、A.4.4において実測方法の説明を行うこと。  
 分類Ⅱ（第三者提供値）を用いる場合には、提供事業者名を概要欄に記載すること。

## A.4.2 計量器を用いたモニタリング（分類B）に関する説明

注) A.4.1（1）においてモニタリング分類B（計量器）を使用する場合の計量器について説明すること。

### （1）計量器の概要

#### ①特定計量器の場合

モニタリング項目	計量器の種類	モニタリングポイント ※1	検定の有効期限

#### ②特定計量器以外の計量器の場合

モニタリング項目	計量器の種類	モニタリングポイント ※1	計量器の校正方法の説明

※1 モニタリングポイントは(2)と整合する番号を記載すること。

### （2）モニタリングポイント

注) 計量器によるモニタリングポイントを図示すること。必ずしも個別項目ごとに図を作成する必要はなく、一つの図で全てのモニタリングポイントを示してもよい。複数の図を作成する場合は、記入枠を必要に応じてコピーすること。

--



### A. 4.3 概算等に基づくモニタリング方法（分類C）に関する説明

注) A. 4.1 (1) においてモニタリング分類Cを使用する場合の概算・推定方法の詳細について説明すること。また、計量器による計測値に基づく推定を行う場合には、モニタリングポイントも併せて示すこと。

モニタリング項目	プロジェクト実施後の照明の稼働時間(h/年)				
(推定・概算方法)					
<b>&lt;屋内の照明&gt;</b>					
(式) 1日の照明の稼働時間(h) × 年間稼働日(d/年) = 年間稼働時間(h/年)					
各施設ごとに以下の根拠資料より稼働時間を把握する。					
<b>稼働時間：就業規則、営業時間</b>					
年間稼働日：得意先出荷カレンダー					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の照明時間は照明の対象範囲の施設稼働時間を保守的に把握する。</li> <li>・稼働時間に年間稼働日に乗じることで、年間稼働時間を算出する。</li> </ul>					
<b>&lt;屋外の照明&gt;</b>					
屋外の照明については国立天文台のホームページより日の入りから日の出までのモニタリング対象期間の実績値を把握する。					
<b>■ 計画書作成時の稼働時間想定値</b>					
下表の根拠に基づき設定する。					
	稼働時間(h/日)		設置場所	稼働時間の根拠	稼働日数の根拠
稼働時間①	24.0	h	高天井（第一配送センター、第二配送センター）	終日点灯	日曜除く
稼働時間②	11.8	h	高天井（荷扱ホーム第一棟、荷扱ホーム第二棟）、屋外、軒下、事務室（第一棟西館1F、第一棟東館1F、第二棟西館1F、第二棟東館1F）、管理棟オートスナック、みちのく	夜間（日の入り～日の出）	年中無休
稼働時間③	9.0	h	第二棟東館2F事務室（福岡）	営業時間（8:30～17:30）	日、祝日除く
稼働時間④	8.5	h	管理棟事務室	就業規則（8:30～17:00）	日、祝日除く
稼働時間⑤	8.5	h	管理棟厨房・食堂	営業時間（平日 8:00～14:30、16:30～18:30）	日曜除く
	6.5	h		営業時間（土曜日 8:00～14:30）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意先出荷カレンダーより年間稼働日を把握し、稼働時間に年間稼働日に乗じることで、年間稼働時間を算出した。</li> </ul>					

#### A. 4. 4 係数(単位発熱量、排出係数、効率等)の実測方法に関する説明

注) A. 4. 1において分類 I に該当する方法でモニタリングを実施することとした項目について、実測方法の説明を行うこと。なお、実測の中で活動量の計測が必要となる場合(例えば効率の計測)には、活動量の計測区分(分類A～分類C)に準じた説明を行うこと。

モニタリング項目		